

(第三種郵便物認可)

京都代協 通常総会と会員大会

京都代協(田中康三会長)は5月31日午後2時から、京都市下京区のホテルグランヴィア京都で会員69名参加のもと第10期(通算55期)通常総会および会員大会を、6時から会員および来賓総勢約138名が出席し、懇親会を開催した。

総会は田中会長の冒頭挨拶のあと付議事項の審議に移り、平成28年度事業報告、決算・監査報告および平成29年度事業計画案、同予算案のすべてが可決承認された。同代協では日本代協が推し進める三冠王(コンサルティングコース)の受講奨励・国民年金基金の加入促進・会員増強)に3年連続で達成した。事業計画では、より一層研鑽を重ね、お客様と心で繋がりを、会員同士が心で繋がる代協を目指すことを打ち出した。

会員大会が行われ、田中会長が会員からの事前質問に回答。京都市の自転車保険加入義務化を受け自転車保険の加入促進と情宣活動に力を入れていくことなどを報告した。同代協理事兼顧問の辻本完治日本代協相談役が、自転車保険の「TTSマーク」の賠償責任補償は対人のみかつ死亡・重度後遺障害のみが対象であることなど補足説明を行った。また今回の会員

大会では、3月22日と5月18日の参議院財政金融委員会で大門実紀史参議院議員が損保代理店のポイント制度等について取り上げ、金融庁遠藤俊英監督局長と麻生大臣が答弁するネット配信動画をスクリーンで上演した。休憩を挟み、清水寺の森清範貫主を講師に招いて講演会「清水寺の林鐘」

自転車保険加入を促進



清水寺の森貫主が講演
開催された総会に盛大に盛

および田中英之衆議院議員、北神圭朗衆議院議員、ならびに伊吹文明、安藤裕、前原誠司、泉健太、二之湯智、福山哲郎各事務所秘書、田中健志京都府議会議員らの来賓を迎え、開催した。

冒頭、田中会長が三冠王達成に触れ、「保険会社の皆様にもご協力いただき、お陰様でV3達成ができた。三冠王達成は全国で6代協、V3は4代協のみで、京都、奈良、山梨、そして地震被害がありながら熊本代協が達成されたので報告したい」と述べ、施行された改正保険業法について、「私は最大のポイントやはり顧客を

第一とする保険募集であり、そのために我々代理店が自立・自律することだと思っている。京都代協でも顧客第一をモットーにしてこの1年邁進してまいりたいと挨拶した。小林氏および鐘ヶ江氏、ならびに北神議員が来賓挨拶を行った。

松田治孝京都代協監事の乾杯の発声で歓談・会食に移った。その後会場入りした田中議員が登壇し、挨拶を行った。

大分代協大分別府支部が高齢者向けセミナー
大分県代協大分・別府支部は6月9日、平成29年度支部総会と高齢者交通安全対策セミナーを大分市ホルトホール大分409会議室で開催、会員・非会員合わせて28名が参加した。



高齢者向け交通安全講習の様子

を務める同代協会員(角フアミリー)損保サービスの米光氏が「高齢者の交通事故の現状と改善策について」と題し講演した。続いて、大分県運転免許センターから講習・高齢運転者支援担当の衛藤氏が「改正道路交通法における高齢運転者対策」をテーマに、実際に実施している認知機能検査を交え話した。

2人の講演を踏まえ、第三部では5つのグループに分かれ、ワークショップを実施。ファシリテーターとして同代協会員(株)ライフコンサル大分三浦氏を迎え、「代理業協会として、損保・生保のPRO代理店として取り組むべき事」をテーマにセ保険代理店としての観点から様々な意見を出し合った。